

# 古今亭菊丸独演会

～更生保護チャリティーの集い～  
菊丸師匠の高座で楽しいひと時を過ごしませんか？

2022年  
4月18日(月) 開場／17:00  
開演／17:30

場所:ホテルセンチュリー21広島  
(〒732-0824 広島市南区的場1-1-25)

チケット代金 5,000円  
(チケット代金の一部は更生保護事業に活用します。)

<古今亭菊丸プロフィール>

昭和26年4月1日生まれ  
昭和50年11月1日 古今亭園菊に入門。前座名「菊助」  
昭和55年6月1日 ニツ目に昇進し、菊之助と改名  
昭和55年2月～58年10月 日本テレビ「笑点」若手大喜利レギュラー出演  
昭和55年10月～56年3月 フジテレビ「リビング11」レギュラー出演  
60年度NHK新人演芸コンクール落語部門 優秀賞受賞  
61年度NHK新人演芸コンクール落語部門 優秀賞受賞  
平成元年4月～4年6月 中国放送「おもいきり土曜日」レギュラー出演  
平成2年3月6日 真打に昇進し、古今亭菊丸に改名  
平成14年8月から 広島修道大学非常勤講師  
平成23年度 文化庁芸術祭大衆演芸部門 優秀賞受賞

チケットのご予約・お問い合わせはこちら

主催 更生保護法人 広島県更生保護協会

☎ 082-221-4585

FAX 082-221-4592 <https://www.hiroshima-hogo.jp/>

〒730-0012 広島市中区上八丁堀3番6号

第2ウエノヤビル3階

協力／広島県保護司会連合会・広島県更生保護女性連盟  
後援／広島地方検察庁・中国地方更生保護委員会・広島  
保護観察所・広島商工会議所・中国新聞社・中国放送・広島  
テレビ・広島ホームテレビ・テレビ新広島・広島エフエム放送



## 更生保護ひろしま 第784号

昭和27年8月創刊 毎月1回1日発行 定価35円

編集 更生保護ひろしま編集委員会  
発行 広島市中区上八丁堀2-31  
広島県保護司会連合会  
☎ (082) 221-4496

本誌内すべての内容の無断転載および複製を禁じます。



### 広島保護観察所

### 勤務時間外における緊急連絡先

夜間・休日等に事件関係等で緊急に連絡を  
取りたい場合は下記に御連絡願います。

●保護観察事件等 090-8990-3261  
●保護司関係 090-2861-7175

料金後納  
郵便

更生保護

ひろしま

更生保護  
ひろしま  
(毎月1回1日発行) 売価35円

1959年4月

広島市宇品町477  
広島保護観察所内  
広島県保護司連合会

櫻井 自慢  
ダルマ焼酎

共同印刷製本株式会社

取締役社長 山部 松雄  
広島市安芸区(駅前南前)  
電話 42,750 43,1750 番

三國書院

誠實買

広島

少年保護

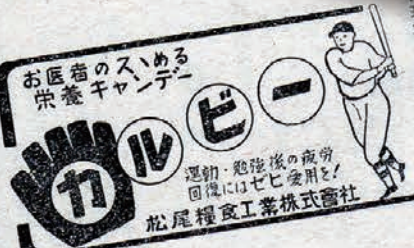
発行所

広島市宇品町四七七  
広島地方少年保護司会連合会  
編輯人 印刷所

中国地方更生保護委員会  
所在地 広島市宇品町四七七番地  
委員長 津山三郎

更生保護ひろしま  
No. 1  
27.8

2月



昭和25年～39年  
に発行された  
「広島少年保護」と  
「更生保護ひろしま」

第784号

令和4年  
4月1日発行

目次

- この秋、更生保護ひろしま創刊70周年記念誌を発行します！・・・・・・ 2
- 協力雇用主さんを訪ねて（三恵企画株式会社 代表取締役社長 平町健介氏）・・ 4
- 令和3年度第4回 広島県保護司会連合会 常任理事会・・・・・・ 6
- 心を育てる感動体験を（中学生対象のリーダー育成研修会）・・・・・・ 7
- 古今亭菊丸独演会～更生保護チャリティーの集い～・・・・・・ 8



更生保護ひろしま  
創刊

更生保護ひろしま編集委員会からのお知らせ

**70 YEARS 2022**

**この秋、70周年記念誌を発行します！**

「更生保護ひろしま」は昭和27年（1952年）8月に産声を上げました。前身の「広島 少年保護」（昭和25年～）を含めた全てのバックナンバーを皆さんが閲覧できるようにと、現在1枚ずつスキャン作業を進めているところです。膨大な量があるうえ、紙の劣化がかなり進んでいるため作業は慎重にならざるを得ないのですが、時間がかかる理由がもう一つあります。創刊当時の古い記事が実に面白く、読み始めるとつい時間を忘れてしまうのです。

例えば昭和31年11月号は、「新装なった広島県庁正庁」で10月7日に開かれた広島県保護司大会（5年ぶりの全員参加大会）の様態を丁寧に記録しています。当時の三浦強一県保連会長の挨拶は、型通りの前置きもそこそこに、まずは地区会の活動充実を訴えます。

「保護司会活動の重点はそもそも地区保護司会におかれるべきものであります。

（中略）ことに研修会、ケース研究、事務の協議会のようなことはすべて、同じ地域のわかり合った人々が気軽に集まり、融和談笑のうちに、いわゆる普段着の会合を開く。それがそのまま保護司としての教養をたかめ、識見をみがくことになるということではなくてはなりません」

会長挨拶は後半に入るとますますボルテージを上げていきます。活動には地域の理解が不可欠なのに保護司の存在が認知されていないと嘆き、さらには政府の更生保護予算が全く足りないことに切り込みます。「保護観察所は電話料の支出にもつかえ、燃料費の欠乏のために暖房のたけない冬をむかえるありさま」「政府は保護司の犠牲に放任して多くを顧みないのであります」

『大会余聞』と題した、わずか4行のベタ記事も目を惹きます。「大会の半ば頃、新聞社から人がみえて、甲奴地区保護司小掛晴夫氏の令息照二君が三段跳びで世界新記録を樹立したと父君に知らせにきた」。（後に日本のマラソン界の育成に尽力した小掛照二氏です。この時、仙台市での競技会で当時の世界記録を25cmも上回る16m48を跳び、メルボルン五輪への出場を決めた。ところが40日後の本番までの合宿中にカメラマンの要望で何度も跳躍させられて足首を捻挫し、五輪では結局8位に終わったのです）



昭和27年8月に発刊された  
更生保護ひろしま 第1号の原本。

## 更生保護ひろしま70周年記念誌の構成案

アジアの保護司たち

県内保護司全員アンケート

ルポ 刑務所・少年院は今

関連「刑法改正の動き」＝「拘禁刑」  
新設で刑務所はどう変わる？

昨今の犯罪傾向と再犯防止策

改正少年法のあらまし

令和4年施行の改正少年法について

地区会だより

各地区会に“自己紹介”してもらう

私の横顔

趣味や特技など保護司有志による寄稿

70年の歩み

名物連載で振り返る  
「更生保護ひろしま」の70年

保護司に期待する

関係団体ほかインタビュー

保護司向けブックガイド

今どきの若者言葉ミニ辞典

郷土の先人、橘原正章氏

明治生まれの保護司の大先輩

こうして70年もの長きにわたり、この「更生保護ひろしま」は県内の保護司活動を記録し続け、先輩諸氏の熱い思いを今に伝えていきます。今回、70周年記念誌の内容を考えるにあたり、「先人の思いを現役の保護司が引き継ぎ、その上で今の私たちの思いを次代を担う人へとバトンタッチしていく」を編集の大方針に据えました。

現時点での構成案は表に掲げた通りです。ルポ、インタビュー、寄稿などの特集記事や各種のコラム、さらに県内保護司全員アンケートを盛り込みます。「誰が読んでも面白く、とりわけ保護司ではない人が読むと保護司になってみたくなる」内容を目指します。

県内の保護司の皆さんにも、この全員アンケートに答える形で参画していただきます。また、われこそはと思う有志の方を対象に、趣味や特技など「私の横顔」と題したエッセーを募ります。調査票や寄稿の要領は地区会を通じて配布・伝達しますので、よろしくご協力ください。

今年は東京・日比谷で最初の更生保護大会が開かれてから70年の節目でもあります。せっかくですので私たちの70周年記念誌も、その「更生保護記念日」である11月27日の発行を目指して頑張る所存です。どうぞ、ご期待ください。

（「更生保護ひろしま」編集委員会）



## 協力雇用主さん を訪ねて

### 三恵企画 株式会社

代表取締役社長 平町健介氏

コンクリート製品の製造  
橋梁補修等（呉市）



#### 平町 健介氏プロフィール

昭和49年 呉市広横路町生まれ

平成20年 「三恵企画」設立

平成30年 「三恵企画株式会社」

代表取締役社長に就任

令和3年、月刊誌「CENTURY：センチュリー」の取材を受け、平町社長が野村将希氏と対談、10月号で紹介され、「社長と従業員の壁がないこと、それが当社の強みです」と発信しています。

今回は瀬戸内海国立公園 野呂山（標高839m）のふもと、呉市川尻町にある三恵企画(株)（代表取締役社長 平町健介氏）をご訪問させていただきました。

三恵企画(株)は、鉄やスクラップの回収業からスタートされ、平成20年には業務内容を一新、古物商の免許を取得して「三恵企画」を設立しました。

その後業務は橋梁点検や橋桁補修業務等に拡がり、2名だった社員も20名となりました。社員のフォークリフト等の資格取得を積極的に推進し、現在は三恵企画(株)

として、テトラポットやエコボックス等コンクリート製品を製造をされています。平町健介社長は「社員は財産」と考えており、人を育て、人を活かす企業として物づくりに励んでいます。



写真が三恵企画(株)が製造するエコボックス。エコボックスとは、中空の箱型ブロックで、中詰材に再生資材等が利用できるため、環境負荷や処理費の低減が図れる建設資材。階段状またはもたれ状に積み上げて擁壁を構築する。

### 本人の「やる気」を尊重して

保護観察の終了後、帰省先のない人が多いと知り、私も何かできないかと思い、協力雇用主になりました。現在は自社に社員寮を完備して、更生保護施設退所後も継続勤務希望者には入寮してもらうことで、更生保護施設出所者を雇用しています。

### 社員寮で「住」を整える

採否にあたり、「やる気」があれば、尊重して採用しています。罪状には関係なく、その者の生きてきた人生によって一人一人に違う個性があります。採用後は、お互いによく話し合う事を心掛けています。

更生の道は、衣食住の整えであり、「住」がない対象者の多くが、再犯となる傾向があります。私共の社員寮の完備は、対象者にまず「住」を整えることで、現在も多くの人たちを支えています。また、寮生活の中で自活の必要性を根気よく指導するとともに、自己責任の必要性を教えています。

ですが中には、無断欠勤をし、そのまま行方不明となるケースがあります。多くの場合、社員寮には本人の私物がそのまま残されており、採用時の履歴書を頼りに、両親に状況説明し、引受けを了承していただきます。ですが、両親が了承されない場合が多く、中にはすべて拒否される場合もあります。こういった場合の対象者の私物処理に困っているのが現状であります。



平町社長は社員は財産と考え、積極的に社員のスキルアップのための資格取得を推進されています。自社で完備された社員寮と、「人を育てて活かす」企業づくりで、対象者の社会復帰へと繋げています。

### 仕事の継続により自己の成長を

雇用した対象者が全員、更生することが理想です。今後も厳しい現実と立ち向かいながら、一人でも多くの対象者を自立、更生への道に歩ませるよう、奮励努力していきたいと思っています。対象者が継続して就労する中で、当たり前前のことを当たり前前にするよう、時には聴く耳を持って話し合い、自身で善悪の判断ができるようになる日を信じています。雇用した以上、一人一人を良く観察して、本人には悟られぬよう陰ながら根気よく注意深く見守りたいと思います。

取材中、平町社長ご夫妻様、ご母堂、平町登美子氏の更生保護に対するご理解に深く感謝を申し上げますとともに、同社の宮本相談役について、少年の世話役、仕事相談、人生相談等をやって居られることに深く感謝の意を語られました。宮本相談役は、名参謀として今後ともご活躍をお願いいたします。

平町社長には、現在も多くの対象者を雇用され、無断欠勤、無断退職等でご迷惑をお掛けしておりますが、その都度ご理解を賜り、雇用を継続していただいております。三恵企画(株)のご発展、平町社長ご夫妻様、ご家族一同様、社員ご一同様のご健康とご活躍を心からお祈り申し上げます。ご多忙中の取材協力にスタッフ一同、厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

（取材／更生保護ひろしま編集委員 月原廣政）



令和3年度  
第4回

## 広島県保護司会連合会 常任理事会

令和4年2月25日（金）広島保護観察所において、令和3年度第4回広島県保護司会連合会常任理事会が開催されました。広島県保護司会連合会 八崎則男会長と、広島保護観察所 久保和慎企画調整課長の挨拶に始まり、下記の議題が上程され、全ての議案が承認されました。

その後、広島保護観察所、広島県保護司会連合会より連絡・報告事項があり、常任理事会は滞りなく終了しました。

## 議 題

- (1) 令和3年度事業経過報告について
- (2) 令和3年度決算見込報告について
- (3) 令和4年度事業計画（案）について
- (4) 令和4年度収支予算（案）について
- (5) 名誉会員の推薦について
- (6) 機関紙更生保護ひろしま70年誌発行について
- (7) 広島県保護司会連合会ホームページについて



更生保護ひろしま編集委員会 月原廣政 編集委員より、2022年度に発刊する機関紙「更生保護ひろしま70周年記念誌」の内容案についての説明がありました。

日時：令和4年2月25日（金）  
場所：広島保護観察所



広島県保護司会連合会 八崎則男 会長

## 出席者

## 広島保護観察所

企画調整課長 久保 和慎  
企画調整課保護観察官 正兼 崇

## 広島県保護司会連合会

会 長 八崎 則男（竹原大崎保護区）  
副 会 長 能美 直哉（山県保護区）  
副 会 長 西田 英治（安佐南保護区）  
副 会 長 渡邊 繁雄（廿日市保護区）  
副 会 長 本宮 達弘（福山保護区）  
常任理事 田坂 健爾（府中保護区）  
常任理事 西田 志都枝（東保護区）  
常任理事 曾川 恵二（中保護区）  
常任理事 長谷川 尚徹（安佐北保護区）  
常任理事 高藤 忠之（東広島保護区）  
常任理事 村上 俊昭（尾道保護区）  
常任理事 山口 厚司（南保護区）  
常任理事 久保 宏隆（安芸保護区）  
監 事 増田 耕士（西保護区）  
監 事 野海 英子（呉保護区）  
事 務 局 藤川 洋（広島佐伯保護区）  
書 記 栗山 久子（県保連）

## 更生保護ひろしま編集委員会

編集委員長 吉川 水貴（広島佐伯保護区）  
編集委員 月原 廣政（呉保護区）



挨拶をする広島交響楽団 草田博 専務理事。（写真左）

令和4年3月5日広島文化学園HBGホールにて、広島市立五月が丘中学校の生徒10名を招き、リーダー育成研修会を開催しました。リーダー育成研修会は、一般企業や工場施設等のご協力を得て、普段の中学校生活では経験できない社会体験を通して、自身の成長に繋げて欲しいと、NPO法人青少年サポートクラブと青少年育成広島県民会議、佐伯警察署、佐伯警察署管内少年補導補助員連絡協議会、広島佐伯地区保護司会の合同で、毎年行っています。

今回は広島交響楽団にご協力いただき第419回定期演奏会にご招待いただきました。参加した生徒は吹奏楽部の部員たちで、広島交響楽団のLIVE演奏の迫力と楽曲の美しさを肌で体感し、感受性豊かな中学生にとって大変貴重な経験となりました。

本来であれば、広島交響楽団のコンサートマスターによる講演や練習見学等予定していましたが、まん延防止等重点措置延長の影響で、内容の縮小や日程変更せざるを得ませんでした。ですが、広島交響楽団の青少年育成に対する深いご理解とご協力により、無事開催できたことに感謝申し上げます。今後も中学生の成長の糧となれるように、さまざまな企画のリーダー育成研修会を続けてまいりたいと思います。

（NPO法人青少年サポートクラブ理事長 吉川水貴）



広島交響楽団 第419回定期演奏会 （写真／中国新聞社提供）